

団長の稽古日記

「初日の幕があがりました。」

「お客様のご入場で―す」という舞台監督の合図から間もなくすると、続々と会場内にお客様が入ってこられる。

場内に入ると、そこには立派な舞台セットがまず目に入るかと思うのだが、お客様はその舞台セットを眺めながら、どんな物語が展開されるのか？を想像し、パンフレットに目を通されたり、知り合いの方との軽い雑談をされたりと、リラックした時間を過ごされていると思う。

一方の出演者達は口数も少なく、楽屋からも笑い声のひとつも聞こえない。初日ってまあ―大体こんな感じ。

私と言えば、コンビニのどろろそばをほぼり台本に目を通し、何度も何度もセリフの確認をしたのは覚えているが、あとは…何をしてきたのかな？さうこうしていると、開演10分前。

場内はほぼ満席状態のようで、舞台袖に行けばその騒めきがより一層の緊張感をたかめる。

いつもならば、関係者一同は緞帳幕の閉まった舞台上に集合するのだが、今回は緞帳幕がないので、廊下に全員が集まり円陣を組み、右手を大きく伸ばす。

「稽古通り行こう！楽しみましょう。」と私はひとりひとりの目を見ながら優しく語り掛ける。

そして「いくぞー！」「おー！」の掛け声で気合を入れ、各自が散らばり、その後、静まり返った会場内に、哀愁を帯びた、かぶちゃん（株竹大智）のヴァイオリンの響き渡り、「知世」役のゆみさん（ますだゆみ）が、夕日が窓から差し込む「老人ホーム」に現れ、物語はスタートした。

みんなの芝居はとっても素晴らしく、テンポも良く、1シーン、1シーン丁寧に進んで行き、身内にしか分からないような細かなセリフのミスはあったにせよ、芝居がちゃんと流れているので、特段問題なく1幕は終了。

10分間の休憩後、2幕「居酒屋門出」のシーンが始まった数十秒後、舞台監督の高橋さんが私の元に飛んできた。

「団長、すみません！（休憩中に出していた）『10分間の休憩です』の看板、ハケ（しまい）忘れまして、芝居が始まっても暫く舞台上に残ってしまいました！」と。一瞬えっ？ってなったけれど、聞こえてくる役者の芝居には動揺した様子は見受けられない。

「（女将役の）千秋さんが、芝居でうまくハケてくれたんですが…すみません！」と高橋さんはかなり落ち込んでいるが、まあ―芝居はナマモノ、ミスをしてしまったのはしょうがない。

芝居はちゃんと進んでいるので、高橋さんをねぎらい、私は「源助」に集中する。

その後も皆さんの芝居は、とても落ち着いていて、私も皆さんに載せられて、一杯「源助」を演じ、自分の中では完璧とは言えないが山場を乗り切り、「番組終わったら島根に向かうわ…：じやくなあ」とカッコつけて、超二枚目を演じ切り袖に向かい、ホッと一息、あとは「居酒屋」のシーンを残すのみ…

私は廊下で居酒屋門出の親父の衣裳に着替えていると、通りかかった千秋ちゃんが、「団長！まだ1シーンあります！」と強い口調で教えてくれる。

「源助」まだ、着替えちゃいけないのだ！私は慌てて元の衣裳に着替え直すのが、かなりやばい！私の出番が刻一刻と迫っている！着替えを終え、舞台袖に到着した数秒後に私の出番、ギリギリセーフ！

何食わぬ顔でセリフを言いながら出て行ったのだが、心臓はバクバク！いやはや…その動揺が芝居に出たのだと思うが、ちゃんとセリフを言いきって、「恵津」を演じる千秋ちゃん（鈴木千秋）の「声」を待つだけとなったのに、数秒待っても恵津の声が聞こえてこないのだ！

「千秋ちゃん早く！」と心の中で焦っていると、「ゆかり」役のみっちゃん（鈴木美千代）が、「こちら源さんです」と、アドリブでフォローのセリフを入れてくれて、私は「ハッ！」となる。

そうだ！もうひとつ私のセリフが残っていた！「新田源助と申します」というセリフを入れなきゃ、物語は進まない！

気づいた私は、動揺している事をお客様に気づかれないように、堂々と立ち振る舞いながら、へんな「間」を誤魔化し、「初めまして、居酒屋門出の常連客の新田源助と申します」というセリフを入れる事が出来たけれど、変な「間」を作ってしまったことにめっちゃ落ち込む…。

そのあとに続く、物語のクライマックスで、そんな私のミスを吹き飛ばすくらいの頼もしい芝居の数々…私も気持ち切り替え、今度こそ！ちゃんと居酒屋門出の親父の衣裳を着て、元気いっぱい最後のシーンを演じ切り、笑顔いっぱいフイナールを迎え、初日の幕は下りたが…看板のミスに私のへんてこな「間」…それより何より、「新作」だということもあり、お客様の反応が怖い。

でもロビーに出て、お客様にご挨拶をするのも代表の務め…針の筵になるのを覚悟で、ロビーにてお客様へのお見送りをすると、どのお客様もどのお客様も、とっても感動して下さっている。

初めてお越しになったというお客様も、涙を浮かべながら私の手を握り、ご自分の人生と重ねてご覧になった感想を、しっかり伝えて下さる方もいらした。

アンケート結果もとっても良くて、反省点は多々あるけれど、なんとか初日は成功を収める事が出来たが、私の中では悔しい思いいっぱい。

明日！明日の楽日でのリベンジを誓ったのでした。